

強者の戦略

今回は 2025 年度の京都大学の理系の第 5 問を解説したいと思います。

理系 第 5 問

θ は実数とする. xyz 空間の 2 点

$$A\left(0, 0, \frac{\sqrt{2}}{4}\right),$$

$$P\left(\cos\theta, \sin\theta, \frac{1}{2}\cos\theta\right)$$

を通る直線 AP が xy 平面と交わるとき, その交点を Q とする. θ が $-\frac{\pi}{4} < \theta < \frac{\pi}{4}$ の範囲を動くときの点 Q の軌跡を求め, その軌跡を xy 平面上に図示せよ.

単元: 軌跡 (数 II), 空間ベクトル, 2 次曲線 (数 C)
配点: 30 点

【解答】

求める軌跡上の点の座標を $Q(X, Y, 0)$ とおく. 点 Q は直線 AP 上の点であるから, 実数 α を用いて

$$\begin{aligned} \vec{OQ} &= \vec{OA} + \alpha \vec{AP} \\ &= \left(0, 0, \frac{\sqrt{2}}{4}\right) + \alpha \left(\cos\theta, \sin\theta, \frac{1}{2}\cos\theta - \frac{\sqrt{2}}{4}\right) \\ &= \left(\alpha \cos\theta, \alpha \sin\theta, \frac{\sqrt{2}}{4} + \alpha \left(\frac{1}{2}\cos\theta - \frac{\sqrt{2}}{4}\right)\right) \end{aligned}$$

と表すことができる. よって

$$\begin{cases} X = \alpha \cos\theta & \dots \textcircled{1} \\ Y = \alpha \sin\theta & \dots \textcircled{2} \\ 0 = \frac{\sqrt{2}}{4} + \alpha \left(\frac{1}{2}\cos\theta - \frac{\sqrt{2}}{4}\right) & \dots \textcircled{3} \end{cases}$$

が成り立つ. ③より

$$\alpha(1 - \sqrt{2}\cos\theta) = 1$$

である. $-\frac{\pi}{4} < \theta < \frac{\pi}{4}$ より

$$\frac{1}{\sqrt{2}} < \cos\theta \leq 1 \quad \dots \textcircled{4}$$

$$1 - \sqrt{2} \leq 1 - \sqrt{2}\cos\theta < 0$$

であるから

$$\alpha = \frac{1}{1 - \sqrt{2}\cos\theta} (< 0)$$

である. ①に代入すると

$$X = \frac{\cos\theta}{1 - \sqrt{2}\cos\theta} (< 0)$$

$$(\sqrt{2}X + 1)\cos\theta = X \quad \dots \textcircled{*}$$

である. $X = -\frac{1}{\sqrt{2}}$ とすると, (*) を満たす θ が存在しないので, $X \neq -\frac{1}{\sqrt{2}}$ であり

$$\cos\theta = \frac{X}{\sqrt{2}X + 1} \quad \dots \textcircled{5}$$

である. ②より

$$Y = \frac{\sin\theta}{1 - \sqrt{2}\cos\theta}$$

であるから

$$\begin{aligned} \sin\theta &= Y(1 - \sqrt{2}\cos\theta) \\ &= Y\left(1 - \frac{\sqrt{2}X}{\sqrt{2}X + 1}\right) (\because \textcircled{5}) \\ &= \frac{Y}{\sqrt{2}X + 1} \quad \dots \textcircled{6} \end{aligned}$$

である. よって, $\sin^2\theta + \cos^2\theta = 1$ から

$$\left(\frac{X}{\sqrt{2}X + 1}\right)^2 + \left(\frac{Y}{\sqrt{2}X + 1}\right)^2 = 1 \quad \dots \textcircled{7}$$

$$X^2 + Y^2 = (\sqrt{2}X + 1)^2$$

$$\therefore (X + \sqrt{2})^2 - Y^2 = 1 \quad \dots \textcircled{*}$$

が得られる.

また, ④より

$$\begin{aligned} \frac{1}{\sqrt{2}} < \cos\theta \leq 1 \\ \frac{1}{\sqrt{2}} < \frac{X}{\sqrt{2}X + 1} \leq 1 \quad \dots \textcircled{8} \end{aligned}$$

であり, $X < 0$ より $\sqrt{2}X + 1 < 0$ であるから

$$1 \leq \frac{\sqrt{2}X + 1}{X} < \sqrt{2}$$

$$1 - \sqrt{2} \leq \frac{1}{X} < 0$$

$$\therefore X \leq -\sqrt{2} - 1 (\because X < 0)$$

である.

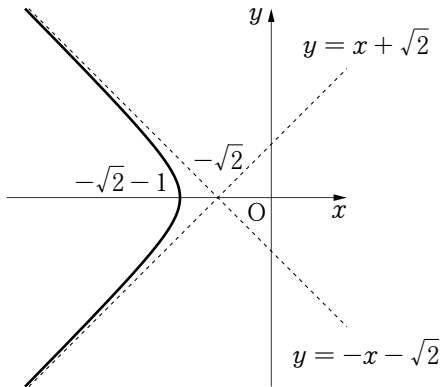
強者の戦略

以上より、求める点 Q の軌跡は

$$(x + \sqrt{2})^2 - y^2 = 1 \quad (x \leq -\sqrt{2} - 1)$$

(双曲線の一部)

であり、これを図示すると次図のようになる。



【解説】

座標空間内で軌跡を求める問題になっていますが、やるべきことは座標平面内で軌跡を求める問題と同じです。

求める軌跡上の点 Q の座標を (xy 平面上にあるので) $(X, Y, 0)$ とおきます。点 Q が直線 AP 上にあるのでベクトルを使って直線のベクトル方程式を立てます。このとき、Q の z 成分が 0 であることから、 α を θ で表せ、その後 θ を消去していきます。解答では点 Q が xy 平面上に存在するという条件、および、 $\sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1$ を用いてパラメータを消去していきます。

最後に点 Q の存在範囲 (軌跡の限界) を調べます。

$$\textcircled{5} \quad \cos \theta = \frac{X}{\sqrt{2}X + 1}$$

かつ

$$\textcircled{6} \quad \sin \theta = \frac{Y}{\sqrt{2}X + 1}$$

を満たす実数 θ が $-\frac{\pi}{4} < \theta < \frac{\pi}{4}$ に存在するための X, Y の条件は

$$\textcircled{7} \quad \left(\frac{X}{\sqrt{2}X + 1} \right)^2 + \left(\frac{Y}{\sqrt{2}X + 1} \right)^2 = 1$$

かつ

$$\textcircled{8} \quad \frac{1}{\sqrt{2}} < \frac{X}{\sqrt{2}X + 1} \leq 1$$

が成り立つことです。

したがって、点 Q の軌跡は双曲線 (*) のうち、 $\textcircled{8}$ を満たす部分となります。

それでは、今回はここまでにしたいと思います。

(数学科 松本)